資料３－１
（第 28 回監視円卓会議）

北海道 PCB 廃棄物処理施設設置工事（増設）について
（増設施設の試運転について）

1　試運転の概要

- この試運転を通じて、増設施設の①プラント設備能力、②環境保全性能、③作業環境性能を確認します。
- 試運転は室蘭Ｐ２異工種建設工事共同企業体（以後、JV）によって行われ、期間中運転業務を受託する会社（以後、運転会社）が JV 指導の下に運転操作を行うことなど、増設施設を円滑に運転できるように教育、訓練を実施します。
- 試運転期間は、平成２５年１月から７月までの７か月間の予定。

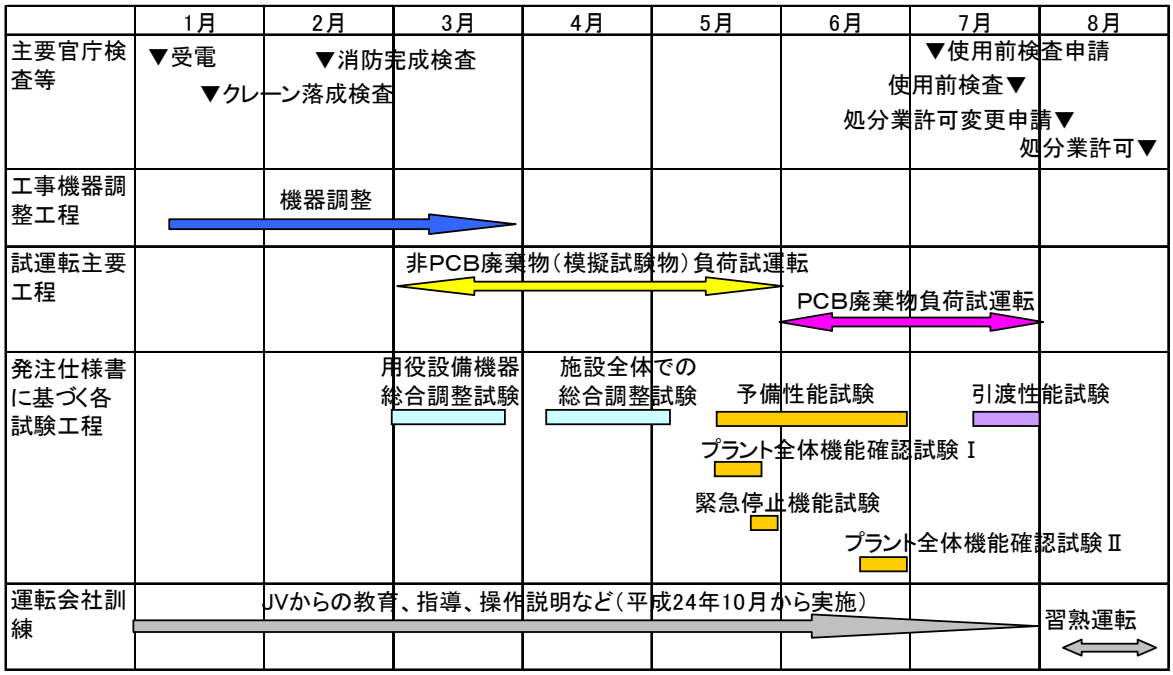
1.1　試運転の構成

試運転項目	試験の種類	概　要
機器調整運転	－	機器のシーケンス（※１）、インターロック（※２）等の調整確認。
非ＰＣＢ廃棄物負荷試運転	総合調整試験	非ＰＣＢ汚染物等を使用した設備毎の機能確認。
	予備性能試験： プラント全体機能確認試験Ⅰ	非ＰＣＢ汚染物等を使用したプラントの能力及び機能の確認。
	予備性能試験： 緊急停止機能試験	非ＰＣＢ汚染物等を使用した緊急停止機能の確認。
ＰＣＢ廃棄物負荷試運転	予備性能試験： プラント全体機能確認試験Ⅱ	代表的なＰＣＢ汚染物等を使用した各プラントの性能及び機能の確認。 処理対象物の種類に応じた前処理、プラズマ溶融、固形物搬送・処理の運転条件及び性能の確認。 卒業判定方法及び施設内分析体制の確立。
	引渡性能試験	代表的な処理対象物を用いて、操業時のタイムチャートに基づく一連の継続的な運転により性能保証事項がすべて満足されていることを確認。

※１シーケンス　　：決められた順序や手続きに沿って機器の動作を行うように組まれたプログラム

※２インターロック：ある動作を行う時に決められた条件が揃って初めて動作が可能となるようなプログラム

1.2　試運転の工程



2　試運転に使用する供試物等

2.1　非ＰＣＢ廃棄物

非ＰＣＢ廃棄物は、模擬の安定器や小型電気機器、感圧複写紙などを使用

2.2　ＰＣＢ廃棄物

ＰＣＢ廃棄物は、実際にＰＣＢを含有した安定器などを使用

3　緊急時対応

非ＰＣＢ廃棄物負荷試運転時に緊急事態を想定した対応訓練や通報訓練を実施

4　運転会社の作業員に対する教育訓練

試運転に先立って、平成２４年１０月から運転会社に対する教育訓練を開始しており、以下の３段階に分けて実施。

第１段階…処理事業の基本思想、増設施設の概要等、座学中心の教育

第２段階…各装置の構成、調整及び操作内容等、現場説明中心の教育

第３段階…試運転要員として参画し、運転操作を習得

また、先行事業である北九州事業所での研修を平成２４年９月、１２月の２回実施済み。

試運転が完了した後、操業開始するまでの間に運転会社の為の習熟運転を実施。

5　その他

この試運転結果をもとに、廃棄物処理法に基づく増設施設の使用前検査や特別管理産業廃棄物処分業の変更許可申請を行い、道の許可を受けた後、本年９月に操業を開始する予定

6　試運転状況写真